

平成26年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	荒井
	全体計画						経費区分		-		内線	3425
事務事業名	4189 シルキーホール管理事業											
所 属	150300 産業振興部・商業観光課											
施 策	05042700 観光産業の振興											
会計	01 一般会計											
科目	070105 商工費・商工費・シルキーホール費											
事業	010000 シルキーホール管理事業											
事業目的							事業概要・効果					
	シルキーホール及び2階市民プラザの管理運営						シルキーホール及び2階市民プラザの管理運営					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成22年度 実績	平成23年度 実績
シルキーホール利用者22,872人	シルキーホール利用者20,499人
平成24年度 実績	平成25年度 実績
シルキーホール利用者23,925人	シルキーホール利用者27,584人
平成26年度 予定	平成27年度 予定
シルキーホール利用者20,000人	シルキーホール利用者20,000人

指標名	シルキーホール利用者				
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標	22,000	22,000	22,000	22,000
	実績	20,499	23,925	27,584	
指標選定の理由	利用状況が的確に把握できるため				
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度 目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		平成25年度 決 算	平成26年度 予 算
事業費		4,732	4,740
特定 財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		4,732	4,740
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員 コスト	正規職員	0.0	0.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,732.0	4,740.0

(単位：千円)

平成25年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,673	指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	59	機器賃借料

(単位：千円)

平成26年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	4,673	指定管理者委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	67	機器賃借料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	施設管理のため不可欠である。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	施設管理を的確に行っている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	市全体の利用率見直しの中で利用率を検討する余地あり。	

振り返り（決算年度の取組み課題）
イス等の老朽化が進んでおり、利用者の安全のため今後更新する必要がある。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

多目的集会施設として、諸会議・各種研修会等で有効活用が図られた。

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

多目的集会施設として多くの利用者があり、立地的にも好条件であることから、今後も一層の利用促進に努める。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--